



熊谷東ロータリークラブ会報



会長：市川 富夫 副会長：藤澤 貞彦 会報情報委員長：野村 泰豪
幹事：浅井 純次 会長エレクト：浅井 純次

国際ロータリー会長：バリー・ラシン
第2570地区ガバナー：茂木 正

〒360-0024 熊谷市問屋町2-4-1 熊谷流通センター会館
TEL.048-525-3025 FAX.048-525-7011
office@kumagaya-east-rc.com
例会日：水曜日12時30分/月末は夕刻例会 18時30分

通算 1980回 【移動例会】 卓話 熊谷東ロータリークラブ 名誉会長 小島敏男 氏

平成31年2月27日

◎司会：草薙友光子 副 SAA ◎点鐘：市川 富夫会長

会長挨拶

市川 富夫 会長



皆さん今晚は。今日は当クラブ名誉会員であります。小島敏男さんをお迎えしました。楽しいお話か、現在情勢の厳しい話かはたまた違う話をして頂けると思います。宜しく御願ひ致します。

今日は、懇親を優先しました移動例会を「焼肉シック」にて行います。

焼肉「シック」さんは、オープン約5ヶ月くらいで丁寧な焼き方で美味しいと巷では噂になり始めているお店です。今日は懇親を優先にしました移動例会を行います。焼肉とケジャンを食べて、マッコリを飲みそして頭と心を開放して多めに語って頂ければ幸いです。

さて、いまインフルエンザとはしかが日本中猛威を振るっています。

予防策の一つとしてマスクを付けるとメガネをかけている方はメガネが曇り良く見えなくなり困ってしまいます。

そこで警視庁直伝のメガネの曇らない方法を教えます。

マスクの内側にティッシュを三つ折りか四つ折りにして、マスクの上側を折りそのまま使用すると、約90%位は曇らなくなり花粉防止にも良いそうです。

私も試しましたが、呼吸は苦しくなく・メガネ曇りも防げました。お試し下さい。

皆さんの健康を祈念しまして終わります。有難う御座いました。

幹事報告

浅井 純次 幹事



地区事務所より

2019-20 年度 P E T S の案内

3/10(日)10:00~17:00 紫雲閣

例会日	出席	欠席	MU	出席率
2.27	14	13	1	53.6%

〈本日 3/6 のプログラム〉

理事会報告
外部卓話 熊谷観光協会チーフプロデューサー 時田竜祐氏
誕生祝

来賓紹介

藤澤 貞彦 副会長



ニコニコ BOX

井桁 憲治 委員



小島敏男名誉会員

夕刻例会に声をかけていただきありがとうございました。そして久しぶりの焼肉ラッキーです。飲んで食べて楽しみたいと思います。

市川会長・藤澤副会長・浅井幹事

名誉会員 小島敏男様 お忙しい所おいで頂きありがとうございます。

本日の卓話宜しく御願ひ致します。

市川富夫会長

熊谷東クラブ 小島敏男さんようこそおいで頂きました。卓話宜しく御願ひ致します。ケジャンとマッコリは相性が良いそうです。ご賞味下さい。

岩崎孝男会員

移動例会、小島先生にはお世話になります。

中山康徳会員・森田政男会員

本日の夕刻例会では、小島先生の卓話を楽しみに参加しました。

宮川 進会員

名誉会員小島敏男様 本日は卓話ありがとうございます。楽しみにしてます！

清水利夫会員

小島敏男名誉会員の卓話、楽しみにしていました。

細川末廣会員

小島先生の卓話楽しみにしています。いつも健康スポーツセンターでのトレーニングに感服しています。

草薙友光子会員

小島先生のご来訪を心よりお待ち申し上げておりました。今日はマッコリでも一緒に飲まして頂きたいと思います。

佐藤良孝会員

今日はお世話になります。小島名誉会員の卓話を楽しみにしておりました。よろしく願い致します。

吉田 繁会員

皆さん今晚は。久しぶりの夕刻例会を楽しみにしていました。今夜はご多忙中のところ小島敏男様ようこそお越し下さいました。小島様の卓話をとても楽しみにして参りました。宜しくお願い致します。

井桁憲治会員

美味しい焼肉を頂きます。小島先生のお話を楽しみにして参りました。

猫好きな井桁より

ニコニコ BOX	本日	累計
2.27	¥17,000	¥515,100

卓話
名誉会員小島敏男 様



夕刻例会に参加して

久しぶりに東ロータリークラブ夕刻例会に出席させていただきました。名誉会長としていつもお気遣いをいただき恐縮しています。焼肉も大好きなので美味しいマッコリを飲み過ぎ、珍しい韓国料理を十分堪能致しました。前の席の清水先生もこの様子に驚いたのでは。隣の草薙さんには色々面倒を掛けてしまいました。会長持参の日本酒に酔い、最後には「芸者ワルツ」を大声で歌い、若い時の自分に戻った気分も味わいました。

卓話は俳句で短くまとめましたが、尊敬する中曾根康弘先生の「暮れてなお命の限り蝉しぐれ」、そして渥美清こと風天の寅さんの「お遍路が一行に行く虹の中」を紹介しました。最近テレビ番組「プレバト」の影響で人気が高まっている俳句は、17文字の中にその時の状況を季語を入れながら詠む最も短い日記でもあり、文学でもあります。私もあるクラブの同好会で句会に参加していますが、月1回の例会で早いもので7年も続いています。3月1日に句会に出した3句を紹介すると①「山里に土筆の家族賑やかに」、②「春雨や旅路を終える両陛下」、③「何事か池江白血春近し」です。10人の評価は、①②は1点、③は0点でした。③は説明を必要としたようだが、水泳の池江選手が突然の白血病にかかって驚いた句でした。いつもそうですが、3句中の1句はその時の世に青を詠むように努めています。1月は「年始め話題を掠(サラ)う なおみ節」とこんな具合です。立派な感性を持ち合わせている人との競争はとても勝負にならないので常に我が道を通しています。歴史の足跡も、又貴重だと思っています。

『男はつらいよ』の第1作目は渥美清が41歳の時、以来67歳の48作(遺作)まで26年走り続けました。68歳の8月に亡くなりましたが、9月には国民栄誉賞を受賞しています。下町が生んだ話芸の天才として活躍し、逝って23年が経ちましたが今もって人気が続いているのは何故でしょうか。シリーズを通して我々一般国民の琴線に触れる場面が随所にあるからでしょう。若い時から「波乱万丈」の人生を歩んできた彼が最後に安らぎを求め、向き合ったのが俳句だったのではないかと私は思えてなりません。

卓話は当初我が国を取り巻く政治情勢について書こうと思っておりましたが、「俳句と私」になってしまいました。お許しください。

〈次回 3/20 のプログラム〉
外部卓話 秩父鉄道 代表取締役 大谷 隆男氏